

下水道問題

問題全般についての検証の必要性は

答 ある程度検証は進んでいると考えます



篠崎 久美子 議員

【下水道問題について】

問題の検証の必要性は。

不適切な徴収事務や行政認識の甘さ、事業の進め方や理解しづらい負担金の仕組み等が各種監査結果や勧告議会特別委員会などで指摘されてきており、ある程度の検証が進んでいると考えます。

再発防止については、

各種監査結果や勧告内容を生かすことが最善と考えます。

負担金徴収猶予の時効解釈の判断根拠は。

民法第157条と地方税法第18条の2第4項からです。

徴収猶予地の面積は。

約120ha、3477筆です。

徴収猶予は期間を区切って手続きを更新することが必要では。

専門家と相談し検討したいと思います。

賦課対象区域の変更とは。

徴収猶予地や加入分担金賦課地を排水区域外とする見直しを検討したいです。その理由と目的は。

管理が複雑で事務量が将来的にも大きく、より適切な管理をするためですが、法規も含め慎重に進めたいと考えます。

それにより加入分担金制度廃止があるのか。

現在は考えていませんが、行政訴訟の結果も待つて対応したいです。

【災害時対策について】

県外自治体との災害時自治体協定の必要性は。

河津町と平成8年に締結しています。地形的に県の広域相互応援協定でカバーすることがよいと考えます。

災害時要援護者避難支援プランの進捗状況は。

個別計画作成は12地区です。

災害時の自治体機能保持のため自治体クラウドなどの必要性は。

大北管内で情報系・期間系システムが共同事業化されましたが、国の動向も注視していきます。

【サイクリング環境について】

「白馬小径」の利用状況は。

把握はできていません。

定期的な管理と必要な改善については。

観光局が主体ですが十分ではなく、地域協力を得る仕組みづくりを検討したいと思えます。案内・誘導面の改善を検討します。

【村有財産管理について】

村有財産管理計画の検討は。

適切な管理運営は大切な認識しており、新公会計制度移行を進め財産台帳を再整備することで財政上から把握できると思えます。

ファシリテーターマネージメント的な考え方の導入は。

全村有財産について総合的・長期的観点から経営管理を目指し、できることから取り組みたいです。



サイクリングが楽しい「白馬小径」